

平成31年度・令和元年度

岩手大学農学部年報

Vo1.25



IWATE UNIVERSITY

2019

岩手大学農学部

農学部年報第 25 号の刊行によせて

岩手大学農学部長 倉 島 栄 一

2020 年 6 月も末となったころ、岩手大学の将来を展望する 2020 ビジョンの原案が示されました。10 月を迎えた今も成案とはなっていません。混迷のなかを切り開き標となるのは、いつの時代も知力と意志であり、それを支える強固な理念も必要となると思われます。このビジョンはさておき、そのなかで岩手大学に必要な根源を問われていることは間違いないようです。

起こり得るさまざまな事象は不確実性を増しています。まもなく 10 回目の 3.11 を迎えます。この規模の地震の生起確率は 1/1000 と言われていました。この 10 年は災害の 10 年でもありました。2014 年には雫石、紫波町を中心に大雨による洪水被害がありました。岩手県の内陸でおおむね 50 年に 1 回の頻度で発生する一連の降雨による雨量は 250~270mm と推計されます。この大雨では局地的とはいえ 300mm を超える雨量が観測され、御明神演習林を流れる赤沢川では橋梁が流され、濁流となった林道網は土砂によって寸断されました。岩手県の内陸部は降雨量が少なく紫波町の滝名川流域では、近年に至るまで農業用水にまつわる水争いが絶えませんでした。かつての干ばつ常習地域もこの豪雨にみまわれ、この上流の山王海ダムへの道路もおおよそ 3 年にわたり通行不能となりました。記憶に新しい 2016 年台風 10 号は、陸を経由することなく大船渡に直接、上陸し、小本川流域で大きな被害が発生しました。このときの雨量も 300mm 超えでした。確率的な予測という手法が、ほぼ成り立たなくなっているとも言えます。

感染症と環境との関連性も指摘されています。森林の減少によって動物と人間の距離が不可避免的に接近しています。これが一因とも言える人獣共通感染症がきわめて大きな脅威となって迫っています。エボラ出血熱、SARS、MARS などの感染症に引き続き、今回のパンデミックも必然的に起こったと考えることができます。14 世紀にヨーロッパを襲ったペストとともに文明の試練とも位置付けられますが、これらの生起は数 100 年程度の時間スケールでは測れないものとも推測できます。

国連は 2020 年版の世界幸福度ランキングを発表しました。わが国は 3 年連続で順位を下げ続け、62 位でした。特に評価が低いのは寛容さで、人とのつながりの希薄さを原因とする指摘もあります。かつて、農業が展開される農村は狭小な地縁や因習が根強く残るムラ社会の側面もありましたが、人とのつながりは豊かでもあり、幸福の原風景とも言えます。

食料の持続的供給、安全な水、これらを支える生命科学、幸福感の追求に、対パンデミックを新たな座標軸に加え、農学はこれら多次元の分解能をあげることが求められます。その確実の歩みの証となるのが、この冊子です。今年の思いは特別でしょう。

令和 2 年 11 月

目 次

農学部年報第25号の刊行によせて

平成31年度・令和元年度の活動概要

1 トピックス	3
2 年間主要行事	5
3 広報等活動状況	7

教員・スタッフ

1 学部教員	
(1) 植物生命科学科	13
(2) 応用生物化学科	29
(3) 森林科学科	49
(4) 食料生産環境学科	61
(5) 動物科学科	81
(6) 共同獣医学科	91
2 附属施設教員	
(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	119
(2) 附属動物病院	123
(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター	126
3 技術部	129
4 学会等の開催	141
5 研究助成	142
6 非常勤講師	144
7 委員会一覧	148

学 生

1 入試	
(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等	153
(2) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の評価・配点	153
(3) 入学者選抜状況	154
(4) 推薦入学選抜状況	155
(5) 植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況	155
(6) 大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況	155
(7) 大学院獣医学研究科（博士課程）選抜状況	157
2 カリキュラム	
(1) 植物生命科学科	158
(2) 応用生物化学科	159
(3) 森林科学科	160
(4) 食料生産環境学科	161
(5) 動物科学科	164
(6) 共同獣医学科	165

3	学部学生	
	(1) 入学年度別在籍者数	166
	(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講生受入状況	166
	(3) 卒業者数	167
	(4) 卒業者の進路状況	167
4	大学院修士課程	
	(1) 在籍者数	168
	(2) 農学研究科	168
	(3) 修了者数	168
	(4) 修了者の進路状況	169
	(5) 修士論文一覧	170
5	大学院博士課程	
	(1) 岩手大学大学院連合農学研究科学位論文一覧	172
	(2) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科学位論文一覧	176

国際交流

1	海外渡航	179
2	外国人研修生の受入	183
3	留学生の受入	183
4	交換留学生の派遣と受入	184

地域交流

1	セミナー・公開講座等の開催	187
	(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの	187
	(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの	195
	(3) 公開講座等	196
2	その他の地域連携事業	200
	(1) いわてアグリフロンティアスクール	200
	(2) AFR（岩手農林研究協議会）	202
3	受託研究員の受入	203

附属施設

1	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	207
	1-1 地域フィールド総合科学分野	
	(1) 概要，教育研究の内容	
	(2) 地域貢献	
	1-2 持続型農業生産技術分野（滝沢農場，御明神牧場）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	
	(3) 実習	
	(4) 土地利用計画	
	(5) 家畜	
	(6) 農畜産物売払高	
	1-3 循環型森林管理技術分野（御明神演習林，滝沢演習林）	
	(1) 概要	
	(2) 教育研究の内容	

(3) 御明神演習林	
(4) 滝沢演習林	
(5) 林産物の販売	
2 附属動物病院	213
(1) 概要	
(2) 診療状況	
(3) 臨床教育の内容	
3 附属植物園	216
(1) 概要	
(2) 主な構成	
(3) 園内概況	
(4) 運営委員会	
(5) 植物園・ガラス温室利用状況	
4 附属農業教育資料館	221
(1) 概要	
(2) 展示資料	
(3) 入館者数	
(4) 農業教育資料館特別企画	
(5) 農業教育資料館蔵資料の他施設・団体への貸出実績	
5 附属動物医学食品安全教育研究センター	223
事務組織等	
1 事務組織	229
2 令和元年度予算関係	229
3 職員の動向	230
(1) 教育職員	230
(2) 事務系職員	230
(3) 技術系職員	231

